

## がん検診の流れ



がん検診  
受診

異常なし

異常あり

精密検査

異常なしまたは  
良性の病変

がんと診断

治療

次回の  
検診

### 「精密検査」と言われたら。

精密検査は、早期発見のチャンスです。がんの部位によって適切な方法がありますので、医師と相談して必ず精密検査を受診してください。適切な精密検査を受診しなければ、がん検診の効果はありません。必ず、精密検査を受診しましょう。

## がん検診Q & A

### Q1 どんながん検診を受けたいですか。

がん死亡率の減少効果が検証されており、国が推奨しているがん検診は5種類です。がん検診で、無症状のうちに「がん」を早期発見できれば、治療による負担が小さく済みます。また、子宮頸がん検診や大腸がん検診では、前がん病変を治療することで、がんになることを防げます。

### Q2 がん検診のデメリットはありますか。

検診を受診しても必ず、がんが発見できるわけではありません。1回の検査で見つからないこともありますので、定期的な受診が必要です。また、がんだけでなくがん検診の結果が「がん疑い」となる場合もあります。その結果、不要な精密検査を受けたり、結果が分かるまで精神的な負担を感じる場合があります。また、X線検査では、わずかですが放射線被ばくもデメリットに含まれます。

### Q3 がんが心配なので、もっと若い年齢から、受けてはいけませんか。

がん検診の有効性が検証されている受診間隔や対象年齢で受診することが望ましいです。それよりも若い年齢の場合、デメリットの方が大きくなってしまふ場合があります。気になる症状がある場合は、医療機関を受診してください。

(参考：国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」HP)

がん検診は、  
市町村や  
職場の検診で  
受けることが  
できます。

検診を受診すれば、  
早期発見・早期治療が可能です。  
ぜひ定期的に検診を受けましょう！

※市町村でがん検診を受けられる際は、実施日程や費用等が異なります。詳しくは、お住まいの保健所、保健センター等へお問い合わせください。

がん予防キャンペーン大阪事務局

〒536-8588  
大阪市城東区森之宮1-6-107  
大阪がん循環器病予防センター内



2024.10



がん検診  
で、早期発見・  
早期治療を！

日本人の2人に1人が、  
がんになっています。



がん検診  
のためです  
「もしもし」の  
元気でも



がん予防キャンペーン大阪



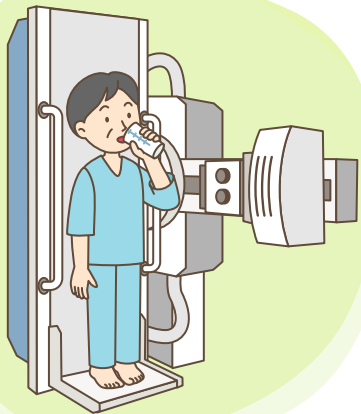
# 胃がん検診

**対象** 50歳以上の男女※

**受診間隔** 2年に1回※

**検査内容** 問診・胃部X線検査 または 胃内視鏡検査

※当面の間、胃部X線検査に関しては40歳以上、年1回も可



## ◎胃部X線検査

胃を膨らませる発泡剤を飲んだ後にバリウム(造影剤)を飲み、さまざまな角度から胃の内部をX線で撮影します。胃の内部の変化が分かるので、胃がんだけでなく、潰瘍やポリープなども発見できます。

## ◎胃内視鏡検査

胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。がんが疑われる部位があった場合、組織の一部を採取して顕微鏡で調べる場合があります。



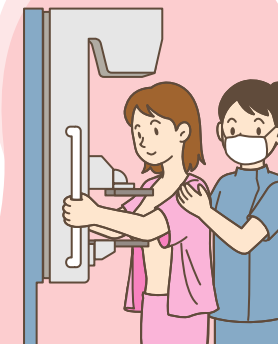
# 乳がん検診

**対象** 40歳以上の女性

**受診間隔** 2年に1回

**検査内容** 問診・乳房X線検査※  
(マンモグラフィ)

※視触診を併用して実施する検査も認められています。



## ◎乳房X線検査 (マンモグラフィ)

乳房を片方ずつプラスチックの2枚の板ではさみ、撮影します。撮影中は乳房に少し圧迫痛を感じることがありますが、月経の一週間前を避けると痛みが少なくなります。触診では見つからないような小さながんを発見することができます。



# 大腸がん検診

**対象** 40歳以上の男女

**受診間隔** 1年に1回

**検査内容** 問診・便潜血検査

## ◎便潜血検査

専用の検査容器に少量の便を採取して提出します。便に潜む血液の有無を調べます。大腸のがんやポリープなどが発見できます。

※便潜血陽性と言われたら、大腸内視鏡検査を受ける必要があります。



# 肺がん検診

**対象** 40歳以上の男女

**受診間隔** 1年に1回

**検査内容** 問診・胸部X線検査・  
喀痰細胞診(問診で必要と認めた場合)

## ◎胸部X線検査

X線で肺全体を撮影します。肺野部(末梢部)にできるがんの発見に適しています。

## ◎喀痰細胞診

痰を採取し、肺がんの細胞が混じっているかを顕微鏡で調べます。X線撮影で見つけにくい肺門部(中心部)にできるがんの発見に適しています。



# 子宮頸がん検診

**対象** 20歳以上の女性

**受診間隔** 2年に1回

**検査内容** 問診・視診・内診・細胞診

## ◎内診

腔内に指を入れ、下腹部の上を軽く圧迫しながら子宮、卵巣、子宮近辺を触診します。

## ◎細胞診

子宮頸部の細胞を専用の柔らかいヘラなどで擦り採り、採れた細胞を染色し、顕微鏡で調べます。

